

縄文の女神と若鮎の里
Funagata



1月9日 新春書初め会 (舟形小学校)

特集

発掘！ふながたのお宝
令和に舞う、幅太々神楽

JAN 2024
VOL.779

1

Public Relations Funagata



contents

- P4 舟形町のうごき
- P5 町制施行70周年記念 地域映画
- P6 舟形町は今年、町制施行70周年を迎えます。
- P8 発掘！ふながたのお宝
- P10 ふなトピ
- P12 まちかど掲示板
- P13 地域おこし協力隊コラム「舟形見聞録」
- P14 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P15 二十四節気 舟形の暮らし、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P16 しめ飾りづくり講座



表紙の紹介

1月9日、舟形小学校で新春書初め会が行われました。児童たちは、「友だち」や「将来の夢」などの字に、一筆ひとふで気持ちを込めて書いていました。



御柴灯 (木友町内会)



初詣 (猿羽根山地蔵尊)



舟形町消防出初め式 (中央公民館)

今年は「甲辰」です

干支は「十干」と「十二支」の組み合わせからなり、60年で一巡します。今年の十干は「甲」、十二支は「辰」のため、今年の干支は「甲辰」となり、十干十二支では41番目にあたります。一巡前の「甲辰」にあたる1964年の日本では、経済成長を象徴するよううにアジアで初のオリンピックである、東京オリンピックが開催されました。舟形町では、衛生組合連合会が発足、町内では初となる信号機が舟形町役場前十字路に設置されるなどのできごとがありました。

「甲」は十干の1番目で物事の始まり、芽吹き、成長という意味があるそうです。

「辰」は龍(竜)のことであり、十支の中では唯一の空想上の生き物です。活気や繁栄、権力などの意味があるそうです。

60年に一度の「甲辰」の今年は、ものが動き出し、活気あふれるエネルギーが注ぎ込まれる一年となることでしょう。



令和6年

新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年早々、能登半島地震で被害を受けられた皆様には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

昨年は、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が、5月から季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げられました。

各種行事やイベントも徐々にコロナ禍前に戻ってきており、ふながた若鮎まつりも4年ぶりに開催することができました。天候にも恵まれ、コロナ前より多い2万2千人の来場者があり、多くの人が若鮎まつりを楽しみにしていたことがよくわかりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症やウクライナでのロシアによる侵攻の影響などにより、電力・ガスをはじめとしたエネルギー価格や食料品価格などの物価高騰が続いています。町では、町民一人当たり1万円の商品券の配布

や農業用揚水ポンプの電気料金への補助、住民税非課税世帯に対しての一世帯当たり3万円の給付などを、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施いたしました。本年も引き続き、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響に対する支援に力を入れて取り組んでまいります。

昨年は舟形町と東京都港区との交流が始まってから、ちょうど50年の節目の年を迎えたことなどから、8月に「災害時相互協力協定」を締結し、10月には桜の記念植樹を行いました。今後とも、災害時の相互協力はもとより、さらなる港区との交流発展につながるものと期待しております。

さて、4月には農業系の専門職大学としては全国で2例目となる東北農林専門職大学が開校いたします。町では、農業の振興と交流人口の拡大などのために専門職大学との連携を図っていきたくと考え、教職員用と学生用のアパートをそれぞれ1棟ずつ建設したところ、定員を超える応募がありました。また、本年は舟形町が昭和29年に旧

舟形村と旧堀内村が合併してから70周年を迎えます。この70周年を記念していろいろな事業を計画しておりますが、その一つとして、地域の方々から提供していただいた昭和時代の8ミリフィルムなどを活用して地域映画を製作しています。地域の方々や中学生など幅広い世代のみなさんに参加いただきながら取り組んでおり、完成した映画をご披露できることを楽しみにしております。




















現在取り組んでいる「第7次舟形町総合発展計画」は5年目となり、折り返しの年です。町民の誰もが幸せを実感できるよう、計画で目指している将来像「住んでいる人が誇れるまちづくり『わくわく未来ふながた』」の実現に向け、誠心誠意努力してまいります。

結びに、この新たな年が皆様にとってより良き年でありませうお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

舟形町長 森 富広

令和5年の 舟形町のうごき

●人口 4,771人 (前年4,888人)
●世帯数 1,827世帯 (前年1,846世帯)

 <p>●出生 16人 (前年 20人)</p>	 <p>●婚姻 7組 (前年 7組)</p>	 <p>●転入 95人 (前年89人) ●転出 109人 (前年110人)</p>	 <p>●死亡 119人 (前年 129人)</p>
 <p>●世帯 2.61人/世帯 (前年 2.65人/世帯)</p>	 <p>●小学校児童数 192人 (前年194人) ●中学校生徒数 109人 (前年119人)</p>	 <p>●65歳以上人口 2,078人 (43.55%) (前年2,088人 (42.71%))</p>	 <p>●舟形若あゆ温泉利用者数 130,126人 (前年100,928人)</p>
 <p>●工業総出荷額 35億1,619万円 (令和2年1.1~12.31末現在)</p>	 <p>●農家戸数 589戸 (前年594戸) (農業共済細目書より)</p>	 <p>●経営耕地面積 1,666.4ha (前年1,752.1ha) (農家台帳より)</p>	 <p>●ふるさと納税額 6億4,674万円</p>
 <p>●水道普及率 99.6% (前年 99.6%)</p>	 <p>●水洗化率 88.4% (前年 88.1%)</p>	 <p>●町の歳入 (一般会計) 60億2,159万円 (前年 61億8,288万円)</p>	 <p>●町の歳出 (一般会計) 57億4,200万円 (前年 59億2,117万円)</p>
 <p>●消防団員 332人 (前年 346人) ●予備消防団員 115人 (R5~)</p>	 <p>●火災 0件 (前年 3件)</p>	 <p>●救急車出動回数 176件 (前年 143件)</p>	 <p>●交通事故件数 4件 (前年4件) (死亡 0人：負傷 6人) ※東北中央自動車道での事故は含まず</p>

町制施行70周年記念 地域映画

3月、上映決定!

本町が今年迎える町制施行70周年を記念し、多世代の町民のみならずとともに「地域映画」を製作しました。

映画の内容は、町内で撮影された貴重な8ミリフィルムの映像や、舟形中学校の生徒による町の昔を知る方へのインタビューの他、「未来へのメッセージ」などで構成されており、世代を超えて共感できる映画となっています。

製作はYBCと協力して進められ、テレビやラジオでもPRされてきました。

町制施行70周年をお祝いするとともに、町の70年の歴史を彩るとっておきの作品を、みなさんと一緒に楽しみましょう。



見どころ①
昭和の舟形町の貴重な映像
8ミリフィルム

見どころ②
中学生によるインタビューと
郷土愛あふれる昔の舟形町の話

見どころ③
地域のみなさんによる
「未来へのメッセージ」

上映会を行います

3月17日(日) 生涯学習センター
20日(水・祝) 農村環境改善センター
23日(土)、24日(日) 中央公民館

いずれも午前10時(開場)から正午までの予定です。
詳しくは追ってお知らせします。



▼問い合わせ/舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104



町制60周年以降の主な町のあゆみ

平成27年（2015）

- 5月 舟形町議会基本条例施行
- 6月 新庄最上定住自立圏形成協定締結
- 9月 ふながた若鮎まつり、直前の豪雨の被害を受けるも復旧し開催
- 10月 舟形町人口ビジョン・総合戦略策定
- 12月 旧堀内小学校解体工事完了

平成28年（2016）

- 2月 平成27年分ふるさと納税での米の返礼品の量が全国で最多と報じられる
- 4月 障がい者支援施設「光生園」が舟形第4地内に移転

平成29年（2017）

- 4月 長沢集学校オープン
日本一のおいしい給食食育推進事業開始
- 8月 西ノ前遺跡公園「女神の郷」開園

平成30年（2018）

- 2月 堀内地区で積雪深300cmを越える豪雪
舟形若あゆ温泉リニューアルオープン
- 4月 町営バスが廃止され、デマンド型乗合タクシーが全町に運行開始
- 8月 第1回鮎釣り甲子園大会開催
豪雨災害、最多で444名が避難所に避難

平成31年～令和元年（2019）

- 4月 舟形クリニック開院
各町内会で町内会びじょん策定

令和2年（2020）

- 2月 舟形町国土強靱化地域計画策定（山形県内で初の計画策定）
- 3月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置
- 4月 第7次総合発展計画に基づく町政が開始
各地区（旧小学校区）で地区びじょん策定
- 7月 令和2年7月豪雨により最上川が氾濫

令和3年（2021）

- 3月 舟形町防災センター完成
舟形町福祉避難所「てとて」完成
舟形町デジタル化推進計画策定
- 5月 新型コロナウイルスワクチン集団接種開始

令和4年（2022）

- 1月 舟形町農業ビジョン策定
- 3月 太郎野地区避難用道路完成
- 6月 リニューアルした舟形町公式ホームページが「総務大臣賞」と「読売新聞社賞」を受賞
- 9月 新しい生活様式に対応した、食の祭典ふながた若鮎まつり開催

令和5年（2023）

- 6月 寺下地区排水対策完成
- 8月 港区と交流50周年、災害時相互協力協定を締結

※町制施行からの主な歴史は、お知らせ版「舟形町のあゆみ」で連載しています。

▼問い合わせ／舟形町まちづくり課企画調整係 ☎(32)0104



日本一のおいしい給食食育推進事業



西ノ前遺跡公園「女神の郷」



令和2年7月豪雨（堀内地区）



福祉避難所「てとて」



寺下地区排水対策



合併前の堀内村役場（右は郵便局）



合併前の舟形村役場

2つの村が合併
舟形町の町制施行70周年を迎えるにあたり、舟形町の誕生について、少し振り返ってみます。
舟形町は明治23年から64年間、立地条件の違いなどの理由から、舟形村と堀内村にわかれています。
昭和28年10月、行政効率を高め、住民の福利を図るためには、町村の規模は8,000人以上であることが理想的であるという理由から、町村合併促進法が施行されます。これを受けて山形県でも基本計画を策定し、舟形村、堀内村の両村でも合併に向けた検討が進められ、翌昭和29年に合併し、舟形町が誕生します。なお、合併時の町内の世帯数は1,990戸、人口11,884人と、町報舟形「創刊号」に記載があります。

舟形の「舟」を図案化したもので、町の融和と平和を意味し、輪郭は、ダイヤを型どり地下資源と合わせて町の繁栄を象徴したものです。



町章

44人と、町報舟形「創刊号」に記載があります。
誕生当時の舟形町は、近代産業の基幹となる石油、亜炭を保有する町として、山形県からも期待されていました。

10年間のまちづくり

この10年間、舟形町では特に町民のみなさんが安全で安心な暮らしのためにまちづくりがすすめられました。近年の激甚化する災害や、世界中でまん延した新型コロナウイルスへの対策などの困難な課題に対し町ぐるみで取り組み、一つひとつ乗り越えてきました。町防災センターや福祉避難所「てとて」の建設といったハード面での整備に加え、舟形町国土強靱化地域計画の策定などを行いました。
さらに、未来を担う子どもたちの愛郷心を育む事業の一つとして、日本一のおいしい給食食育推進事業を開始しました。この事業では、町内産の農産物などを生かした給食を提供しています。

町制施行70周年を迎える舟形町。これからは社会情勢の変化に対応しながら、持続可能なまちづくりを目指していきます。



最上小国川（一の関大橋より）

舟形町は今年、町制施行70周年を迎えます。

昭和29年12月1日、舟形村と堀内村が合併し、舟形町が誕生しました。

誕生当時の舟形町は、近代産業の基幹となる石油、亜炭を保有する町として、山形県からも期待されていました。

10年間のまちづくり





幅神楽保存会
会長 伊藤準悦さん(幅)

現在、幅神楽保存会は主に上長沢地内の5年生以上の男子児童を対象に長獅子を継承しています。会長の伊藤準悦さんには、人々に愛されてきた伝統のある幅太々神楽を誇りにし、子どもたちに成長してもらいたいという思いがあります。

幅神楽保存会が設立

約30年間、途絶えてしまった幅太々神楽でしたが、斎藤譲一さんや伊藤太一さんは、昭和63年、長沢小学校新校舎落成式での披露に備えるとともに、幅太々神楽の継承を目的とした「幅神楽保存会」を立ち上げました。七つ芸の内、斎藤さんが担っていた長獅子以外の芸は、残念ながら継承されず現在に至ります。また、幅太々神楽では音楽を奏でる下座取りがないため、現在、奉納に使用している音源は、平成6年に丸一神楽に奏でられたものを、猿羽根山体験実習館で録音したものだそうです。

伊藤 太一さん(幅)

— 幅太々神楽を伝承する際に大切にしていることは？

子どもの数が減っており、後継者の確保が難しいです。舞いを教えるときは、同じことを幾度となくやり直しをさせられることに耐えられるか、不安にもなりますが、少しずつ上手になる子どもたちの姿に元気づけられております。人々が幸せになれるよう、気持ちを入れて舞うことを指導しています。

— 伝統芸能とは？

幅太々神楽も含め伝統芸能は、途切れることなく人から人に伝えられなければなりません。教わる側も、優れた感性と記憶力がなければ、後世に伝わりません。これまで繋いできた先人たちには、尊敬の念を抱いています。



斎藤 譲一さん(幅)

— 地域の方にとって幅太々神楽とは？

テレビなどもない時代で、みんなとても楽しみにしていました。昭和30年ごろと63年の2度の再開時は、待ちに待った幅神楽と言われ、喜ばれたものです。

— どのように舞いを身に付けましたか？

当時の大夫から1ヵ月くらい、毎日習いました。大夫は厳しかったけれど、みんな練習を楽しみにしていましたよ。

— どのような思いで長獅子の舞いを？

華やかな舞台に立つことができますし、何より観客のみなさんを幸せにできたことがうれしかったです。



写真中央が斎藤さん。
代々受け継がれてきた
道具と「長持ち」。

<幅太々神楽の公演について>

ふながた若鮎まつり、芸能フェスティバル、最上地区民俗芸能フェスティバルなどで公演しています。歴史ある幅太々神楽をぜひご覧ください。

▼問い合わせ／

舟形町教育課社会教育係 ☎(32) 2 2 4 6
※幅神楽保存会の活動について



伊藤 大悟さん(幅)、阿部 陸稔さん(幅)

— 幅太々神楽は楽しい？

(伊藤さん) 楽しい。やってみると足の筋力を使い、足が痛くなることがよくありますが、上手にできるようになるとうれしいです。

— 未来の幅太々神楽は？

(伊藤さん) 今は小学生が2人だけ、覚える子が増えるとよい。みんなを幸せにできる芸能をずっと続けていきたいです。

— 大変なところは？

(阿部さん) 忠実に再現することと、腰をおとして演じることです。



ふながたの「お宝」。舟形町のもの、人、場所などをシリーズで紹介します。第9弾は「幅神楽保存会」です。

発掘!
ふながたのお宝

令和に舞う、幅太々神楽

幅太々神楽の
始まり、始まり

幅太々神楽は、長沢地区幅に伝わる伝統芸能です。150年以上の伝統があり、五穀豊穡、家内安全などを願い奉納されてきました。生きた獅子が動き回るような、前かぶりと後ろかぶりの息の合った二人踊り、邪を祓い、福を呼び込む一人踊りがあり、躍動感ある長獅子は観客の視線を釘付けにします。

幅太々神楽「七つ芸」

神楽とは、神前や、まわつた家々で祓いや祈祷などを行う神事で、特に獅子が頭を噛むような厄払いが印象的です。幅神楽保存会にうかがったところによると、幅太々神楽の起源は今から遡ること約150年前、当時の若者たちが博打などに興じる日々を過ごすため、地域の方々が心配し、若者たちが何か他のものに夢中になれるよう、幅地内で神楽を奉納していた丸一神楽(大石町)の一座に願い、教えていただいたそうです。そのため、幅太々神楽は丸一神楽と同じ構成だそうです。

太平洋戦争への召集と 高度経済成長期の出稼ぎ

昭和17年ごろになると、担い手たちは太平洋戦争へ召集され、幅太々神楽は一時中断されてしまいます。昭和30年ごろには、斎藤譲一さんなどの働きかけにより復活され、

元々は15歳〜20代の20人程で旧正月の2、3日に野、幅長尾、休場(新庄市)などの家々や、神社に奉納したそうです。また、長獅子だけでなく、これに続く道化舞、おかも、鳥刺し、阿呆舞、和唐内座頭舞の「七つ芸」があつた他、三味線、太鼓、笛、鐘を奏でる下座取りがいました。これらの芸能を受け継ぎ、次代へと繋いできたのが大夫と呼ばれる家系でした。

幅太々神楽の特徴

七つ芸(現在は長獅子のみ継承)

「米」の字を描くように舞う

「静」と「動」の舞い

幅太々神楽が上長沢地内や熊野神社、猿羽根山トンネルの起工式などで披露されたそうです。しかし、時代は高度経済成長期へと移り変わり、芸の担い手たちは出稼ぎに出たり、会社に勤めたり、次第に集まることが難しくなります。再開を喜ばれた幅太々神楽でしたが、わずか数年で解散することになりました。



幅神楽保存会(平成7年ごろ)
伊藤準悦さんと斎藤譲一さん

高齢者生きがいづくり 事業「お出かけすっぺ」

12月19日、一人暮らしの高齢者を対象とした事業「お出かけすっぺ」を開催し、20名が参加しました。この事業は閉じこもりになりやすい冬期間に支援を行うことで、地域の方との交流と買い物や温泉利用などを通じた生きがいづくりを目的としています。

参加者のみなさんは町のバスに乗ってお出かけ。舟形若あゆ温泉では、健康サロンOHANA（代表 渡邊彩加さん）から「自宅でできる体操」を教えてもらいまし



た。関節の可動域の拡大や筋力の維持向上が期待できるように、姿勢の状態の確認を受けながら、ヨガマットの上に座り、タオルを使って肩や体幹を伸ばすなどの運動を行いました。

その後、参加者同士で会話を楽しみながら、温泉に入ったり、昼食を食べたり、産直「まんさく」やDCMニコット舟形店で買い物も行いました。参加者からは、「体を動かし、温泉に入り気分が晴れやかになった。冬の間は外に出るのがおっくうになるが、楽しい外出ができた」と話していました。

※次回の開催は2月20日です。
 詳しくは12ページをご覧ください。



新しい選挙管理委員が 決まる



12月25日、選挙に関する事務や直接請求に関する事務などを管理する舟形町選挙管理委員会委員が新たに決まり、当選証書附与式が行われました。次の方々が委員となりました。任期は4年です。

- 【委員】
 澤内修一さん（委員長）、
 叶内安繁さん（職務代理者）、
 井上万良さん、阿部孝行さん
 【補充員】
 伊藤義範さん、東海林幸雄さん、
 星川雄治さん、高橋亨さん

12月14日、舟形町認定農業者協議会（会長 早坂守さん）より町長へ園芸拡大ステップアップ事業や種子助成の継続など、町の農業振興を目的とした7つの要望事項を記載した要望書が提出されました。

また、15日には同協議会の主催する農政懇談会が開催され、農業関係団体や認定農業者などあわせて30名が参加し、税理士法人プロゲート代表の坂川達志氏を講師に迎え「インボイス制度」についての講習会や、農業関係団体との意見交換が行われました。

認定農業者協議会 町の農業振興に向けて



児童たちからリクエスト 田苗光代さん 図書寄贈

12月22日、田苗光代さん（幅出身、山形市）から舟形小学校の児童たちが読みたい図書32冊を寄贈いただきました。毎年、図書をいただいております。今回は「ぬまの100かいだてのいえ」や「ハウルの動く城」などの図書が寄贈されました。



図書委員長の奥山卓さん（6年）は、「私が大好きな図書もたくさんいただいたので、児童のみなさんにもおすすめて、読んでほしい」とうれしそうに話していました。

大日本農会農事功績表彰 長澤光芳さん 緑白綬有功章



有限会社舟形マシナールーム代表取締役を務める長澤光芳さん（経壇原）が令和5年度公益社団法人大日本農会農事功績表彰で緑白綬有功章を受章しました。長澤さんは、徹底したマシナールの品質管理と安定生産に努めたほか、6次産業化にも積極的に取り組み、加工施設や産直レストランを導入するなど、多彩な商品開発を行なっています。

緑白綬有功章は、農事改良の奨励または実行上顕著な功績をあげ、地域農業の発展に貢献された方などに贈られます。

県知事より 山形県県土づくり感謝状



小国川（葦ノ神）を愛する会（代表 叶内安繁さん）に、山形県県土づくり感謝状が贈呈されました。

もがみ南部商工会 地域の活性化に向けて



12月13日、もがみ南部商工会舟形支部（支部長 八鍬雅章さん）から要望書が提出されました。

火災・災害のない平穏な 1年を祈願



1月7日、舟形町消防安全祈願祭・出初め式が中央公民館で行われ、団員など約50名が参加しました。

元日に 初詣でにぎわう



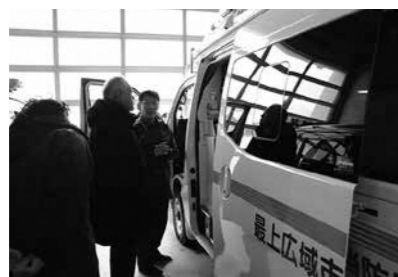
1月1日、町内各地の社寺などに多くの方が参拝し、今年一年の幸せを祈願していました。

御柴灯で 無病息災を祈る



1月中旬、各地区で行われた御柴灯で、無病息災、五穀豊穡、家内安全を祈願しました。

南支署に新しい救急車を 導入



最上広域市町村圏事務組合消防署・南支署に新しい救急車が納車され、地域の救急業務に活用されます。

まちかど掲示板

まちの話題、疑問、質問、提言、意見のほか、会員募集やイラストなど何でも結構です。広報紙上でできるだけ紹介します。



【問い合わせQR】

まちづくり課 企画調整係

☎(32) 0104

✉ kikakupr@town.funagata.yamagata.jp

お知らせ 高齢者生きがいづくり事業 「お出かけすっぺ」

閉じこもりになりやすい冬期間に支援を行い、地域の方との交流や買い物などを通じた生きがいづくりを目的としています。事前の申込みが必要です。

▼日時／2月20日（火）
午前9時～午後4時

▼対象者／

- ・概ね65歳以上で一人暮らしの方。
- ・バスの乗降や買い物、温泉利用等、自分で身の回りのことができる方。

▼内容／

- ・最上消費者センターによる講演と温泉施設利用（午前）
- ・新庄市へ買い物（午後）

▼参加費／300円

▼お申し込み切／2月13日（火）

▼その他／

- ・最寄りの旧バス停まで送迎します。
- ・温泉を利用する際に必要なものを持参ください。

▼申込み・問い合わせ／

舟形町地域包括支援センター
☎(32) 0690



舟形町教育振興修学資金修学生を募集します

町では、将来を担う人材を育成するとともに教育の機会均等に寄与することを目的として、「舟形町教育振興修学資金」の貸付を行なっています。令和6年度における貸付を希望される方は申込みください。

▼募集人員／新規10名程度

▼貸付対象／次のすべてに該当する方

- 令和6年4月1日現在、次のいずれかに入学予定または在学中であること。
 - ・学校教育法に規定する大学または短期大学
 - ・専修学校またはこれに相当すると認められる学校
 （ただし、大学受験のための予備校、公務員試験受験のための学校をのぞく）
- 舟形町に住所を有する方の子弟
- 品行が正しく、学術に優れていること

▼貸付制度概要

- 貸付額／月額5万円以内
- 貸付期間／令和6年4月～最終学年の終期
- 利子／無利子
- 貸付の方法／毎月1月分を指定する日に貸付（*ただし、4月と5月分は5月の振込み）
- 返還方法／貸付終了から1年経過した後、大学は8年以内、短期大学およびその他の学校は5年以内に返還

▼申請手続き／舟形町教育振興修学資金貸付申請書に保証人2名を付し、次の書類を添えて提出

- 保護者と修学生の親子関係がわかる証明書（戸籍抄本等）
- 保証人2名の方の所得証明書、納税証明書、印鑑証明書など
※保証人の要件：父母等の保護者1名と家族以外で独立の生計を営む方1名
- 貸付申込期間確認票

▼申込み期間／2月26日（月）～3月15日（金）

▼その他／申請手続きの詳細は、町ホームページでも確認できます。

▼申込み・問い合わせ／舟形町教育課学事係 ☎(32) 2379

地域おこし協力隊コライム

舟形見聞録

第10話

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

「体形の変化」

最近、体に大きな変化がありました。それは、体重が増加したことです。舟形町に引っ越してきてから、最初のうちは体形をキープできていたのですが、町の食べ物がおいしくてついついたくさん食べてしまい、体重が4キロも増えていました。

これから雪かきを行うことになるので、今のうちに蓄えておくのもいいかな？なんて思いつつも、運動しないといけない！と思う今日このごろです。

「保存食と正月準備」

これからの時期、漬物などの保存食作りをされるご家庭も多いと聞き、取材をさせていただきました。取材にご協力いただいたご家庭では、赤カブの漬物、玄米漬け、キクラゲと大根、にんじんの漬物などを作られていました。「舟形町は雪が多く降る



Instagramはこちら



から、何でも自分でできないと生活ができないぞ」とアドバイスされました。漬物は、ただおいしく食べるだけのおかずではなく、雪深い舟形町ならではの生活の知恵だったのですね。

また、鮎の昆布巻きをいただきました。今まで食べてきた昆布巻きはニシンが主だったので、鮎がとれる舟形町ならではのアイデア料理だと思いました。

冬の舟形町で、今月も新たな発見に恵まれました。

佐藤 浩二



舟形町のおいしい漬物



初めて見た除雪機による除雪

▼問い合わせ／

舟形町まちづくり課地域支援係
☎(32) 0104

最上地区交通安全協会「優良運転者表彰」

最上地区交通安全協会では、次の優良運転者の方を令和6年春に表彰しますので、規定に該当する方は、申請してください。

▼各賞の表彰規定／『ダイヤモンド賞』30年以上無事故無違反者、『金賞』20年以上無事故無違反者

▼申請に必要なもの／・申請書（舟形町住民税務課生活安全係に準備しています）

- ・無事故無違反証明書交付手数料400円・運転免許証の写し・印鑑

▼申請先／舟形町住民税務課生活安全係

▼お申し込み切／2月9日（金）

▼相談先／最上地区交通安全協会舟形支部理事

担当地区	氏名（町内）	担当地区	氏名（町内）	担当地区	氏名（町内）
野	石川 啓一（野）	舟形第3	伊藤 良樹（舟形第3）	富田 1	八鍬 照光（富田 1）
幅	伊藤 貴大（幅）		古川 誠（舟形第3）	富田 2	山科 忠昭（富田 2）
長尾	八鍬 進（長尾）	舟形第4	星川 廣美（舟形第4）	太折	庄司 一明（太折）
内山	伊藤 健（内山）		高橋 志朗（舟形第4）	瀬脇・堀内	安達 忠治（瀬脇） 斉藤喜久男（堀内）
長沢第1	大場 静雄（長沢第1）	紫山	横瀬 登（紫山）	実栗屋	門脇 悟（実栗屋）
長沢第2	伊藤 隆（長沢第2）	向山	沼澤 則夫（向山）	洲崎・横山	東海林幸雄（洲崎）
	叶内 一雄（長沢第2）	沖の原	芳賀 繁美（沖の原）	真木野・新堀	小野 正敏（真木野）
長沢第3	高橋 正之（長沢第3）	西堀	沼沢 正之（西堀）		越前 榮一（新堀）
経壇原	高橋 昭則（経壇原）	木友	志村 強（木友）	西又・松橋	斉藤 忠男（西又）
大平・鼠沢	伊藤 勉（大平）		小松・長者原	小國 秀直（長者原） 相馬 静夫（長者原）	
一の関	沼澤 重成（一の関）	福寿野・馬形	奥山 静雄（福寿野）		
舟形第1	安食 正男（舟形第1）		中島 辰一（馬形）		
舟形第2	小野寺新一（舟形第2）				
	沼澤 圭治（舟形第2）				

▼問い合わせ／舟形町住民税務課生活安全係 ☎(32) 0155

おせちのみんなあつまって!

作・絵/真珠まりこ



「みんなあつまって!」かまぼこさんが呼んでいます。一つひとつにこめられた意味と一緒に、おせちの種類を学べる絵本です。

未来のきみを変える読書術
—なぜ本を読むのか?

著/吉野一徳



頭と目を鍛え、進みたい道へ自由に歩きだすための「本の読み方」を伝授。なぜ本を読むのか、という問いに答えてくれる一冊です。

図書室にない本も
借りることができます

お探しの本がない場合、中央公民館をとおして山形県立図書館の資料を借りることができます。詳しくは中央公民館にご相談ください。

町中央公民館図書館
蔵書数 9,496冊
(令和5年12月時点)

二十四節気 舟形の暮らし

Vol.21

大寒 1月20日〜2月3日
一年で最も寒さが厳しくなるころ。

大寒の寒さに耐えながら鶏が産んだ卵は、「大寒卵」と言われています。冬前にえさをたくさん食べて栄養を蓄えるため、栄養価が高く滋養がある、金運上昇の縁起物です。旬の食材は卵。たんぱく質やビタミン類を多く含む完全栄養食です。

卵酒

●材料(2人分)

卵	2個
砂糖	大さじ2〜3
日本酒	1800ml (お好みで)
牛乳または豆乳	1800ml

●作り方

- ①卵を泡立て器で、少し泡立つくらいまでしっかりと混ぜる。
- ②泡立てた卵に砂糖を入れて混ぜる。
- ③日本酒に牛乳または豆乳を入れ、沸騰する手前まで温める。
- ④②③を注ぐ。急に注ぐと卵が固まってしまふので、混ぜながら少しずつ注ぐ。

2月の食育・地産地消デーは2月17日(土)
▼問い合わせ/食育・地産地消推進委員会事務局
☎(32)0947

◆◆舟形文芸ひろば◆◆ 短歌

- 己が肌を刺すごときあゆみ行く歩調
落とさぬように今朝ゆく路地の冷えの感触
木瓜の花の会 佐藤和夫(西堀)
- 千風会【新春を寿ぐ】
しめ縄や氏神さまを迎へ入れ
子孫らの健康われただ祈る
千風会 渡辺幸子(紫山)
身を崩し治療二十日間過去あらため
夢あらたかに新春を迎ふ
千風会 森 勝広(舟形第四)
- お正月孫・子揃ひ和氣藹藹
至上の幸せ未来へ満つ満つ
千風会 森 弘子(新庄市)
- パッチワークの「辰のぬるくるみ」作り
年神さまに捧げ孫に送る
千風会 畠山ひろみ(木友)
- ちりめんの「辰の置物」鎮座する
孫の土産は新春を寿ぐ
千風会 小野光子(真木野)
- 元朝の太陽は燦々と女童つつみ
絹衣は未来へ命育くむ
千風会 沼澤 千鶴子(鶴陽(舟形第四))
- 初詣受験の女孫おもひやる
千風会 小野 光風(光子(真木野))
- 山脈眠りひびく産声オルゴール
千風会 沼澤 千鶴子(千岳(舟形第四))

俳句

- 翌年の安堵願いて日記買う
木瓜の花の会 佐藤孝子(舟形第二)
- 着ぶくれて肩こりほぐす右左
長沢俳句会 大場小夜子(内山)
- 烏瓜電飾のごと四五十個
長沢俳句会 佐藤昭子(長沢第二)
- 細き腕介護の日々や冬ざるる
長沢俳句会 柏木伸子(長沢第三)
- 儚なきや夢まぼろしか冬の虹
長沢俳句会 高橋ふき子(長沢第三)
- 友の住む空き家になりし雪の降る
真見七生(舟形第四)
- 年新幸と福との揃い踏み
四季倶楽部 永沢幸男(光生園)
- 商店に人々集う福引所
四季倶楽部 伊藤貴子(光生園)
- 元日に飛龍雲見た僕は見た
四季倶楽部 五島 健(光生園)
- 白さぎの飛ぶ姿を見風情を
四季倶楽部 岸 麻理子(光生園)
- 除夜の鐘煩惱払い福を呼ぶ
四季倶楽部 奥山 早知子(光生園)
- 待望の初夢なれど漣なり
興 珠子(野)
- 当季三つ物回文連句
ナカジワデハツビタッハデワジカナ
仲仕わで初旅立つは出羽路かな
目地張り伸びた旅乗り初め
テレサイト読み初めぞ見よ問されて
北陽社 井上玲虹(野)
- ※回文とは、上から読んでも下から読んでも同じ言葉になる文句です。
- 付合句
外向きのわたしを脱いで初湯宿 興 桃月(野)
果報に浸る旅初めの日は 井上 玲虹(野)

舟形まんぶく物語 第21話

森町(北海道)では、中国政府が日本産水産物の輸入を全面的に停止したことにより影響を受けている水産加工・流通業者からホタテを買い取り、全国の学校給食に無償提供する取組みを行っています。

12月20日(水)の給食

りんご
野菜スープ (舟形産ねぎ使用)
ホタテとマッシュルームのカレー (森町産ホタテ、舟形産マッシュルーム使用)
※メニューは舟形ほほえみ保育園で提供したものです。

舟形町でも無償提供を希望し、12月13日に小・中学校で「ホタテのマヨネーズ焼き」、20日に舟形ほほえみ保育園で「ホタテとマッシュルームのカレー」として子どもたちに提供しました。普段はなかなか食べられない、新鮮でとてもおいしいホタテの味に、笑顔があふれました。

Instagramはコチラ



▼問い合わせ/舟形町教育課
☎(32)2379
この事業は、ふるさと納税を活用しています

二十歳の祝賀式を迎えました! カメラアングル



小谷 春菜さん(洲崎)

現在の職業は?

大学生

自分を一言で言いつつ?

気分屋

夢は?

スポーツ栄養士

趣味は?

おいしいご飯屋さんを見つけること

舟形町の良いところは?

空気がキレイなところ

10年後の舟形町は?

今と変わらず、自然が豊かな町。

尊敬する人

両親

祝賀式を迎えて一言

良識を持った大人になります

人口と世帯 (12/31現在)

男	2,336人 (-4)
女	2,435人 (-7)
計	4,771人 (-11)
世帯	1,827世帯(±0)

()は前月比

選挙人名簿登録者数 (12/1現在)

男	2,057人
女	2,146人
計	4,203人

2月の納期 ※2月29日(木)まで忘れずに納付しましょう。

- 国民健康保険税 第5期
- 後期高齢者医療保険料 第5期

- 11月のタバコ税は1,803,103円
- 2月の舟形若あゆ温泉の休館日は14日(水)

新年の無病息災を祈願して しめ飾りづくり講座



12月、しめ飾りづくりが町内各地で開催されました。しめ飾りは、お正月に家の中に歳神様をお迎えする際に邪気や厄災などが入ってこないようにするお守りの役割があるとされています。

今年合計87名の参加があり、「長沢わら細工愛好会」（代表 八鍬朝吉さん）を講師に迎え、辰年にちなんで、力がみなぎり活気づくように、それぞれの願いを込めて作っていました。

また、お正月の松の内が過ぎたころには、各町内で実施している御柴灯で、正月に飾ったしめ飾りや古くなったお守りなどと一緒にお焚き上げを行い、無病息災や家内安全を祈願しました。

長沢わら細工愛好会では、毎週火曜日の午前9時から正午まで、生涯学習センターでわら細工教室を開催しています。初心者の方も大歓迎ですので、興味のある方はぜひ問い合わせください。

▼問い合わせ／
生涯学習センター

☎(32)1880

あとがき

post script

あけましておめでとうございます。今年も広報ふながたをよろしくお願いいたします。みなさんは初詣にいかれましたか。私は堀内地区の伊豆神社に参拝し、本年を迎えました。神社に向かう際、堀内橋の工事現場が年を越す間も煌々と明るく、工事の忙しさを感じました。

その日の夕方、能登半島地震が発生しました。現在も苦しい生活を余儀なくされている方が多くいます。町では募金も受付けております。一刻も早い復興を心より願っております。(ゆづ)

2月の主な行事予定

- 2日 立志式（舟形中学校）
- 13日 教育功労者表彰式
（中央公民館）
- 17日 新園児一日入園
（舟形ほほえみ保育園）

